

# 代々木図書館新聞

よよぎとしょかんしんぶん

渋谷区立代々木図書館 03-3370-7566

〒151-0053 渋谷区代々木 3-51-8 代々木区民施設 4F

Vol. 36  
2016年10月15日

## 鈴木三重吉

### 代々木の小説家時代



「赤い鳥」創刊号と第2号

#### ●小説家として出発

児童文学者として語られることの多い鈴木三重吉ですが、若い頃は小説を書いていました。

明治37年、広島から上京して、東京帝大英文科に入学。夏目漱石の講義を受けています。

翌年、休学静養中に書いた「千鳥」が漱石に推奨されて、雑誌「ホトトギス」に載ったのです。

#### ●代々木山谷、代々木初台の頃

卒業後、三重吉は「黒髪」「小鳥の巣」と、次つぎ小説を発表していきます。代々木山谷143（裏面地図の①）に越してきたの

は、「国民新聞」に「桑の実」を連載中だった大正2年8月、31歳の時でした。

ところが9月には、代々木初台598（地図の②）へ転居しています。漱石宛ての葉書に「謹啓蚤に辟易して引越しました。不便なところでありませう。家賃大抵六円五十銭ですから大に奮発して二軒借りてやりました」。

1軒に家族が住み、もう1軒は三重吉が書齋に使っていました。

#### ●『三重吉全集』の出版

その後、代々木山谷295（地図の③）に転居。さらに代々木山谷289（地図の④）に移り、大正5年1月まで住んでいました。この地で『三重吉全集』の出版に取り組みます。装幀の美しい本でしたが、あまり売れず、大きな負債が残ってしまいました。

#### ●雑誌「赤い鳥」創刊へ

毎月1冊ずつ西洋のお話を出版することになって、まず書いたのがウエールズの伝説の再話『湖水の女』。負債返済のためもありましたが、生まれたばかりの長女の寝顔を前にして書きました。

これを機に児童文学に携わるようになります。「世間の小さな人たちのために、芸術として真価のある純麗な童話と童謡を創作する、最初の運動を起こしたい」と、大

正7年7月、高田村（現・豊島区目白）で、児童雑誌「赤い鳥」を創刊。小説家時代に培った洗練された文章の童話や再話を、毎号のように載せています。

#### ●「赤い鳥」の功績

芥川龍之介の『蜘蛛の糸』や新美南吉の『ごんぎつね』、西条八十の童謡「かなりや」などは、「赤い鳥」に発表されたものです。当時まだ若かったこうした執筆者を見出したことが、「赤い鳥」の功績として挙げられます。

「赤い鳥」では子供の綴り方や童謡の募集もありました。童謡の入選作欄に大岡昇平（東京市外渋谷小学校5年生）の名を見つけることができます。読者にも後に文芸学者や芸術家になった人が少なくないのです。（裏に続く）



『赤い鳥翔んだ』脇坂るみ著 小峰書店  
『名著復刻日本児童文学館・第1集』ほるぷ出版  
『桑の実』鈴木三重吉作 岩波書店

## 三重吉の 旧居跡をたどる 小説家の苦悩の足跡

(一面から続く) この頃の人は身軽によく引越したそうですが、三重吉も転居を繰り返しています。代々木近辺だけでも4ヶ所。その足跡をたどってみましょう。

①代々木山谷143(現・代々木3丁目)  
国民新聞に「桑の実」連載開始後「暑くてたまらんから」青山から「二階の家」へ転居。

②代々木初台598(現・代々木5丁目)  
「桑の実」執筆に苦しみます。新聞もしばしば休載しました。  
しかし、作者の苦しみとは裏腹に、穏やかなゆったりとした日常が美しい描写で描かれている「桑の実」は、小説家時代の代表作となりました。

書簡の住所を頼りに、現在の地図に記しました。



③代々木山谷295(現・代々木4丁目)  
脱稿後も神経衰弱に苦しめられ、作品が書けません。生活が、ひっ迫していきます。

④代々木山谷289(現・代々木3丁目)  
出版に意欲を燃やし、それまでに書き溜めた小説の『三重吉全集』13篇のうち、第1〜8編をここで発行しました。

## 渋谷と文学 「神南署安積班」 今野敏

昭和63年から続く安積班シリーズ。本書は、その第7作目です。短編『異動』に、こんな場面があります。一番若い刑事の桜井が単独行動をし、犯人に捕まってしまったときのこと。

仲間達に救出された桜井は「評価を上げたかった」と言います。そのとき安積は「私の仕事はおまえたちを評価することじゃない。フォローすることだ」と応えます。

斑のメンバーがお互いを信頼し、チームで事件を解決していく。読後感の良さが、安積班シリーズの魅力です。

臨海地区開発の縮小にともない、神南署に越してきた安積班でしたが、この作品を最後に、彼らは再び新東京湾臨海署へ異動します。

神南署は架空の警察署で、原宿駅前からファイヤー通りに抜ける途中にあるという設定です。東京湾臨海署があるのは江東区青海2丁目。同所には、平成20年東京湾岸警察署が誕生しています。



『神南署安積班』今野敏著  
角川春樹事務所

### 図書館ご利用案内

開館時間  
月・水～金曜日→11:00～19:00  
土日祝休日→9:00～17:00

10月～2017年1月の休館日  
毎週火曜日・第3日曜日  
11/10(木)・12/8(木)・1/12(木)は館内整理日のため、また、12/29(木)～2017年1/3(火)は年末年始のため休館します。

### 10月～2017年1月の催し

おはなし会  
開催日 毎週木曜日(第2木曜日を除く)  
時間 15時～15時30分  
おはなしとこうさく会  
開催日 第3土曜日  
時間 15時～15時30分  
●12月はクリスマス会、1月はこどもカルタ会です。  
雑誌リサイクル  
開催日 第4土曜日 時間 9時～

### お知らせ

- 2017年1月9日(月) 成人の日 11時～12時  
「大人のためのおはなし会」を開催いたします。  
参加無料、申込不要です。
- 今回は、2017年1月発行の予定です。

### 編集後記

三重吉の長女すずが父について「原稿に向かうとき、妙なこだわりがあり、なかなか書き進められなかった」と書いています。文字の好き嫌いが激しい、新しいペンはまず先を丸くしてから使う、庭も部屋も机の上もきれいにしてから、物音がしてもため、始終いらだっている三重吉でしたが、やがてファッション界で活躍するすずには、亡き父の姿が心の支えとなったのです。